

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2018年 1月16日 No. 243

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

長野地本

「新春講演会・新春旗開き」を開催しました！

1月13日JA長野県ビルで長野地本「新春講演会・新春旗開き」が開催されました。「新春講演会」では、長野地本退職者連絡会会長の新井修一様より、「労働組合側から見たJR発足30周年」と題して講演をいただきました。

新井会長講演内容（要旨）

- ・昨年、各自動車メーカーで品質管理に関する不祥事が明らかになった。問題企業の労働組合はその機能を果たせていない。JRでも先日の新幹線台車に亀裂が入る事象、電架柱の倒壊など重大な事態が発生し続けている。職場での点検活動の大事さを今一度考えてほしい。
- ・国鉄解体は多くの問題を抱えながら見切り発車した。30年が経過して見直しが必要。
- ・一人ひとりの労働者を守ること、労働組合として安全を忘れてはならない。会社は利益を優先する。だから、やりすぎ等の無理が発生する。労働組合は会社のやりすぎを止めるブレーキ役。組合員それぞれがしっかり労働三法等勉強をして、運動をしてほしい。



「新春旗開き」では、長野地本臼井執行委員長は年頭所感で、「先日発生したJR西日本での台車亀裂の事象、大糸線での大滑走。事象は違うが会社の体質は一緒。今の状況ではたして安全が守られるのか。私たちは声を出し続けていく。」「国労の小林さんへのカンパの協力を感謝申し上げます。小林さんからも御礼を言われた。組織は違うが同じ鉄道で働く仲間として協力していく。」「春闘は今から要求を決め運動していく。昨年からの課題でもある職場での運動をやりきってほしい。」と述べました。また、来賓で出席した中央本部の佐藤委員長があいさつで、「様々な問題に向き合える組織を目指し、地方本部の声を大事に、未来を展望していく。」と述べられました。



中央本部 佐藤委員長



団結ガンバロー！



長野地本 臼井委員長